

# これからの民有林経営について考える（第5回） 森林の専門的な知識を民有林経営に活かす

東京農業大学林学専攻 森林総合科学科

## 1. 主旨

民有林経営は、時代の変遷の中で大きく転換してきており、特に、近年の木材価格の低下、環境問題の台頭、木材利用の変化などの日本林業を取り巻くダイナミックな変化に、森林整備や森林経営、木材利用あるいは後継者育成の面から対応し切れていない現状があります。このような状況を打開するためには、時代を乗り越える新しい理念に基づき、長期的な展望を踏まえた方向性が必要です。また、そのための課題も多様で地域性に富んでいる実情です。

林学専攻や森林総合科学科の専門的な知識を民有林経営に活かすためには、双方の交流やネットワークが必要不可欠です。そこで、第5回目のシンポジウムでは、森林に対する専門的な知識や視点をどのように民有林経営に活かすのか。民有林経営の問題を専門的な領域の課題へとフィードバックするのについて取り上げ、将来の構想について検討します。

## 2. 日時

平成28年1月31日（日） 1号館1F 141 教室

- ①13:00～13:10 概要および趣旨説明
- ①13:10～13:40 森林利用の変化が大型野生動物の生息に与える影響について  
—ツキノワグマを事例として— 山崎晃司氏
- ②13:40～14:10 生物多様性を重視した森づくりにおける樹木菌根共生の意義  
田中恵氏
- ③14:10～14:40 多様な情報の中における森林経営の見える化を目指して  
吉野聡氏
- 14:40～15:00 休憩
- ④15:00～16:40 総合討論  
コメンテーター 司会 宮林茂幸氏  
原研二氏（大日本山林会）
- ⑤17:00～ 懇談会

学生参加は自由です。

## 3. 連絡先

156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学 森林経営学研究室  
佐藤孝吉 Tel. 03-5477-2276 Fax. 03-5477-2617 E-mail; satota@nodai.ac.jp